



神奈川県

KANAGAWA

令和5年度版

かながわ農林水

わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業

福を呼ぶ



かながわ新名産「天然・釣物 相模のとらふぐ」



かながわ農林水

わたしたちの暮らしと神奈川の農林水産業

Contents

- 1 地域の特色を生かした農林水産業
- 3 かながわブランド
- 5 暮らしの中の農林水産業のはたらき
新鮮で安全な食料を供給する農林水産業
県土や自然環境を守る農林水産業
うるおいや、やすらぎをもたらし、
豊かな恵みを守る農林水産業
- 11 農業のすがた
農業の概況
農業を支える人々
農地
農業生産
畜産
- 23 森林・林業のすがた
森林の概況
林業を支える人々
森林を保全するために
森林の整備
森林づくり県民運動
森林環境譲与税を活用した取組
森林からの多彩な産物
- 31 水産業のすがた
漁業の概況
漁業を支える人々
漁業を支える漁場、漁港及び漁船
豊かな海の恵み
つくり育てる漁業、守り育てる漁業
川や湖で行われている淡水魚の採捕や養殖業
恵まれた水産資源を生かした水産加工
- 37 農林水産業の活性化をめざして
- 39 農林水産業を支える技術開発と普及
- 43 農林水産業とのふれあいを求める方には



トラフグというと下関をはじめとした西日本で水揚げされる高級魚というイメージが強いですが、神奈川県でも質の良い天然トラフグが水揚げされており、令和3年度にかながわブランドに登録されました。

1. 貴重な天然・釣物

日本で消費されるトラフグの大半が、輸入物や養殖物で占められている中、相模のとらふぐは、はえ縄といわれる漁法で1尾ずつ丁寧に釣り上げられる、貴重な天然・釣物であり、その旬は11～3月です。



トラフグを1尾ずつ大切に釣り上げるはえ縄漁

2. 漁業者と県が 二人三脚で立ち上げたブランド

三浦半島西部に位置する長井漁港は神奈川県のトラフグ漁発祥の地です。



水産技術センターが生産したトラフグ稚魚

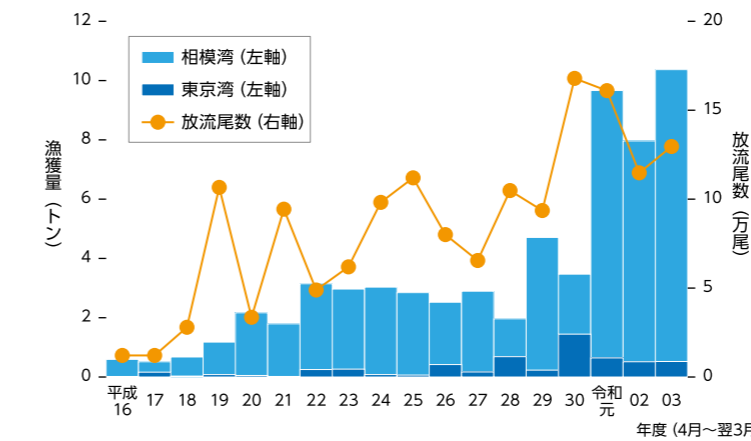
県内では、長井漁港を拠点とする漁業者が、平成7年度に初めてトラフグのはえ縄漁を始めましたが、当初は漁獲量が少ない状況でした。そこで、平成20年度から神奈川県水産技術センターでは国の研究所の協力の下、トラフグ稚魚の共食いを抑制する技術など、稚魚を大量に生産し、育成するための技術を開発し、稚魚の試験放流やその分布、食性に関する調査等を積み重ね、漁業者との二人三脚で、資源の増殖と管理を進めてきました。

その結果、近年では年間3トン以上の安定した漁獲量となり、令和3年度は長井地区で8.6トン、県全体で10トンと、これまでで最高の漁獲量となりました。

同年11月には、「天然・釣物 相模のとらふぐ」が新たにかながわブランドに登録され、本県の新名産となっています。県ではトラフグ資源の安定に向け、引き続き、トラフグの稚魚を安定的に供給することで、今後も漁業者を支援していきます。

同年11月には、「天然・釣物 相模のとらふぐ」が新たにかながわブランドに登録され、本県の新名産となっています。県ではトラフグ資源の安定に向け、引き続き、トラフグの稚魚を安定的に供給することで、今後も漁業者を支援していきます。

トラフグ種苗の放流尾数とトラフグの漁獲量の推移



3. 相模湾は餌が豊富な好漁場

相模湾の沿岸域は、外海に大きく開口し、急深で海底の起伏に富んでおりトラフグの生息に適した水深50～100mの場所は、餌となるイワシ類や小型のエビ類も豊富で好漁場となっています。これらの餌を食べている「相模のとらふぐ」は、丸々と太って肉付きが良い逸品ですので、ぜひご賞味ください。

4. 首都圏にストレスなく直行

全国のトラフグ産地の中で、首都圏の市場に最も近いのが、長井漁港です。鋭い歯を持つトラフグは仲間同士で噛み合うため、釣り上げてすぐに専用のペンチで歯の鋭い部分を切り、1尾ずつ隔離して



ワンルーム出荷

生きのまま出荷(ワンルーム出荷)します。長井漁港は、消費地である都市近郊に立地しているため、魚にとっては輸送のストレスが少なく、活きの良い状態で市場に届けることができます。



定番の薄造り「てっさ」や鍋料理「てっちり」に加え、ひれ酒などで極上の味わいを堪能できます。

「天然・釣物 相模のとらふぐ」情報はこちら

食べられるお店や直売所、通販などの情報も掲載しています。

●長井町漁業協同組合HP

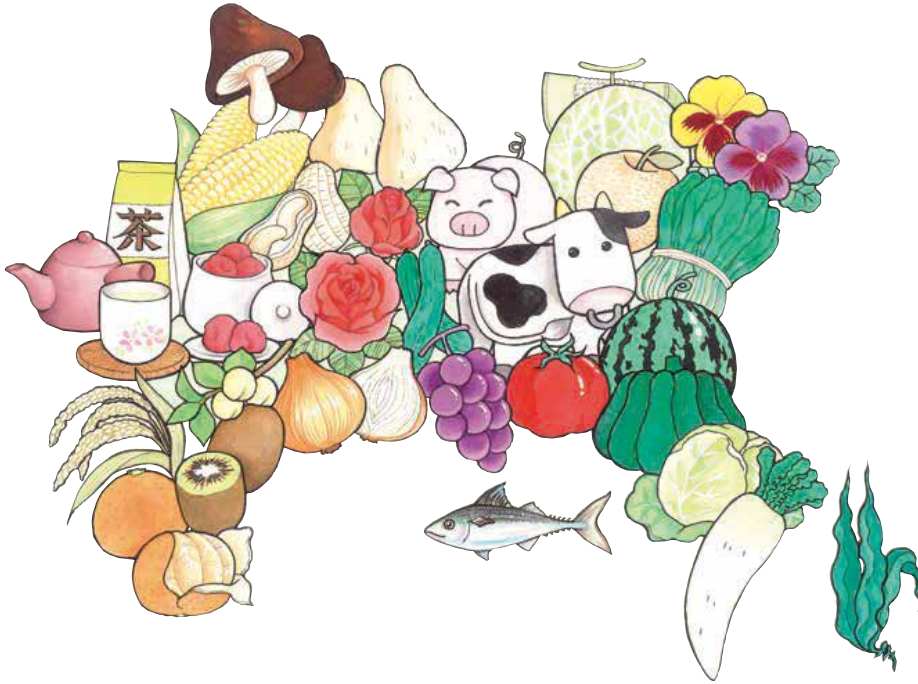
<http://jf-nagaimachi.info/>



かながわ新名産

「天然・釣物 相模のとらふぐ」

農林水産業は、新鮮な野菜、牛乳や肉・魚など食料の供給だけでなく、良好な景観の形成、防災、県土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、文化の継承、情操のかん養など様々な働きを持っており、わたしたちが生きていくうえで欠くことができない大切なものです。一方で、農林水産業を続けていくには、皆さん一人ひとりの理解と支えが必要です。この冊子は、本県の農林水産業の現状やそれを担っている人々の姿を知っていただき、わたしたちの暮らしを支えている農林水産業について多くの方に理解を深めていただくためにつけています。



神奈川県 環境農政局

かながわ農林水産業出前講座

農林水産業の魅力や課題について理解を深めていただけるよう、神奈川県の農林水産業の現状や活性化に向けた取組などについて、県職員が県民の皆さまのもとへ出向いてお話しします。



講座Menu

詳細はホームページをご覧ください <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/a2d/cnt/f7372/>

かながわの農林水産業の概要を知りたい

- かながわの都市農業の推進
- 神奈川県育成品種とその特性
- 県内の農業生産の状況
- かながわの畜産
- かながわの農地
- 農地や用水路などの農業生産基盤整備の概要
- かながわの森林・林業
- かながわの水産業
- つくり育てる漁業
- 持続的な水産業

かながわの農業参入について知りたい

- 本格的に農業参入をお考えの方へ

かながわの農林水産業における環境保全について知りたい

- 水源の森林づくり
- 環境にやさしい農業を進めるために
- 漁場環境の保全

かながわの農林水産物の安全性について知りたい

- 畜産物の安全性への生産現場での取組

かながわの農林水産物について知りたい

- かながわブランド
- 県産木材の利活用

かながわの農林水産業体験について知りたい

- 市民農園
- かながわの水(み)・土(ど)・里(り)とふれあう活動
- 森林ボランティア

フォローしてね!



神奈川県食育マスコット
「かなふう」



ツイッター @AFF_KNGW (かなふうの農林水産だより@神奈川) 神奈川県の農林水産に関する情報、イベントなどをつぶやいています。
<https://www.facebook.com/kanafuu.kanagawa/>
かなふうが所長を務める「かながわ食育事務所」のFacebook では神奈川県での食育について情報発信しています。